



第10回堺市議会 議会報告会

令和2年11月22日（日）

第10回堺市議会 議会報告会

本日は議会報告会にご参加いただきありがとうございます。
お手元に以下の資料があるかご確認ください。

- 第10回堺市議会 議会報告会（本日のスケジュール）
- 第10回堺市議会 議会報告会 第2部テーブル表
- パワーポイントの報告資料
- 新型コロナウイルス感染症対策に係る
令和2年度一般会計補正予算資料
- 参加者アンケート



第10回堺市議会 議会報告会

- 新型コロナウイルス感染症の予防対策（マスクや手指消毒など）へのご協力をお願いいたします。
- 議場での飲食は、ご遠慮ください。
- 会場内では、携帯電話等は電源をお切りいただくか、マナーモードにしてください。
進行中は、写真撮影・録音・録画等のご遠慮ください。
休憩中や終了後は、写真撮影をしていただいても構いません。
- 議会事務局の職員が記録用として、写真撮影及び録音を行います。写真は堺市議会ホームページ等に掲載する場合がありますので、ご了承ください。
報道機関に対して、撮影及び録音を許可しておりますので、あらかじめご了承ください。





第10回堺市議会 議会報告会

令和2年11月22日（日）

第10回堺市議会 議会報告会 本日のスケジュール

	時 間	内 容
第1部 議会報告	約15分	今般の新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論について など
第2部 議員との 懇 談	約30分	懇談テーマについて自由な意見交換 「withコロナの医療・介護・福祉職場 について」 (10階 会議室、12階 委員会室等)
	約25分	総括発表 (11階 本会議場)

第1部 議会報告

- ① 新型コロナウイルス感染症への議会における対応
- ② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論
- ③ 令和元年度決算に関する議会での議論

第1部 議会報告

- ① **新型コロナウイルス感染症への議会における対応**
- ② **新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論**
- ③ **令和元年度決算に関する議会での議論**

① 新型コロナウイルス感染症への 議会の対応

感染予防対策

- マスクの着用や消毒液の設置（2月定例会から）
- 検温や仕切り板の設置（8月定例会から）

担当部局の負担軽減への協力

- 議員の発言時間を半分程度に短縮（2月定例会から）
- 感染症に関する本市への要望等を議会として一元化
- 出席する職員を午前・午後で入れ替え（5月定例会から）

① 新型コロナウイルス感染症への 議会の対応

堺市議会災害対策会議の設置

- 国の緊急事態宣言発出の可能性を受け、
「堺市議会業務継続計画」（議会BCP）に基づき設置
（4月6日～5月28日）



① 新型コロナウイルス感染症への 議会の対応

感染症対策の充実強化へ、議会費予算を削減

議会の総意で、議会費予算から5,000万円を捻出
(議員報酬から約3,400万円、視察旅費から約1,600万円)

- 議員報酬を令和2年6月分から11月分まで
月額15%減額するため

「堺市議会議員の議員報酬の特例に関する条例」
を全議員で提案

全会一致で可決



① 新型コロナウイルス感染症への 議会の対応

感染症対策の充実強化へ、市長へ要望

- 議会費予算から捻出した5,000万円を
新型コロナウイルス感染症対策の充実強化に使うことを
市長に強く要望するため

**「新型コロナウイルス感染症対策の充実強化に関する
要望決議」**

を全議員で提案

全会一致で可決



第1部 議会報告

① 新型コロナウイルス感染症への
議会における対応

② 新型コロナウイルス感染症対策に
関する議会での議論

③ 令和元年度決算に関する議会での議論

② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

感染症対策のための事業費

総額で 9 6 5 億 6 千万円

1 1 月定例会の提案予定分を含めると
総額で 9 9 0 億 1 千万円

② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

5月定例会で提案された補正予算の主な内容

- 新型コロナウイルス感染症に関する電話相談体制の整備や検査体制の強化
- 各施設におけるマスクや消毒液などの購入に係る経費など感染拡大の防止
- 特別定額給付金の給付に要する経費などの緊急経済対策
- 子育て世帯への臨時特別給付金に要する経費など市民生活の支援
- 介護・障害者・障害児通所サービス事業者などの事業継続のための支援

② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

まずは生活に困窮した方々を救う、事業者の皆様をサポートする、そして医療体制を万全にし、検査体制も整えていく。そして地域の経済の回復、これまで休業要請、外出自粛で窮地に陥っている事業者の方の支援ができるようにしていきたい。

第2波が訪れたとしても、できるだけ遅く、影響をできるだけ小さくすることをめざしていく。

市長の発言



② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

議員からの意見



これからさまざまな財政支援も含め、国としっかり連携し、新型コロナウイルス感染症によって山積している課題に対応しなければならない。市民、国、大阪府との連携を密にしながら、ウィズコロナの時代に対応してもらいたい。

新型コロナウイルス感染症対策について、大変厳しい財政状況になるが、市民に寄り添う施策、きめ細やかな施策を、しっかりと方向性を見極めて実施していただきたい。

補正予算を全会一致で可決及び承認

② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

7月臨時会で提案された補正予算の主な内容

感染拡大の防止と地域経済の回復を両立し、
第2波への体制を整えるための取り組みの方向性を示す
「堺市ウィズコロナ取組方針」を基に編成されたもの

- **感染症の拡大防止・第2波への備え：**

介護施設などでの感染発生時に事業者間で応援職員を派遣する仕組みの構築や、備蓄用としての医療用物資の購入に使う費用

② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

7月臨時会で提案された補正予算の主な内容

- **暮らしを支え、地域経済を守る：**
新生児の保護者に対する市独自の給付や、市立小学校や特別支援学校における8月～10月の学校給食費無償化に使う費用
- **「堺スタイル」の浸透と新しいライフスタイル／ワークスタイルへの挑戦：**
キャッシュレス決済を活用した市内消費の活性化、市内中小企業の先端設備などの取得費支援などに使う費用

② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

市長の発言

今はまだ、感染が収まっていないというより拡大している時期なので、臨機応変に対応できるように、本当に困った市民の方々をお支えできるよう、知恵を絞りながら対応していく。



② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

議員からの意見



政令指定都市で初となる新生児臨時給付金など、これまで支援の手が届かなかった世代への支援もあり、現役世代への重点投資という観点からも大いに評価できる。

事業の中には公平性の観点から事業の手法についてももう少し配慮が必要と考える点もある。今後も市民生活の安心・安全を守り、公平な予算執行に努められたい。

補正予算を全会一致で可決

② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

8月定例会で提案された補正予算の主な内容

- 濃厚接触者などに対する支援及び検査の実施など、保健所の体制強化
- 濃厚接触者などへのPCR検査の一部を民間検査機関において実施するなど、検査体制の強化
- 事業収入が減少している中小事業者の固定資産税などを軽減
- 商店街などへの感染症対策を支援

② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

8月定例会で提案された補正予算の主な内容

- 新型コロナウイルス感染症のような不測の事態や収支不足に備え、より広範囲に活用できる財政調整基金の残高を確保するため、廃止する基金などから財政調整基金への積み替え
- 次年度以降の夏季休業の短縮に備え、その期間に全員制の給食が実施できるようにするなど、小学校や支援学校の給食調理場の一部に空調設備を設置

② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

議員からの意見



PCR検査体制の充実について
「まずは目標の1日350件を可能とする検査体制を
実現されたい。
また、新技術の導入など検査体制の見直し、
例えば発熱の症状のある方などに受診していただける
発熱外来の設置など、必要な人が適切な検査を
スピーディに受けられる体制の構築を強く要望する」

② 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会での議論

議員からの意見



給食調理場への空調設備の設置について、
「補正予算は年度内整備が60校、
残りの学校は次年度以降の予定ということである。
児童の食の安全、食育を第一に考えると、
全校を平等に年度内で整備する提案がいただけなかった
ことは非常に残念である」

「残りの26校についても次年度の5月末までには
設置完了をめざし、全校で安全・安心な完全給食が
実施できるよう要望する」

補正予算を全会一致で可決

第1部 議会報告

① 新型コロナウイルス感染症への
議会における対応

② 新型コロナウイルス感染症対策に
関する議会での議論

③ 令和元年度決算に関する議会での議論

③ 令和元年度決算に関する 議会での議論

● 一般会計 決算

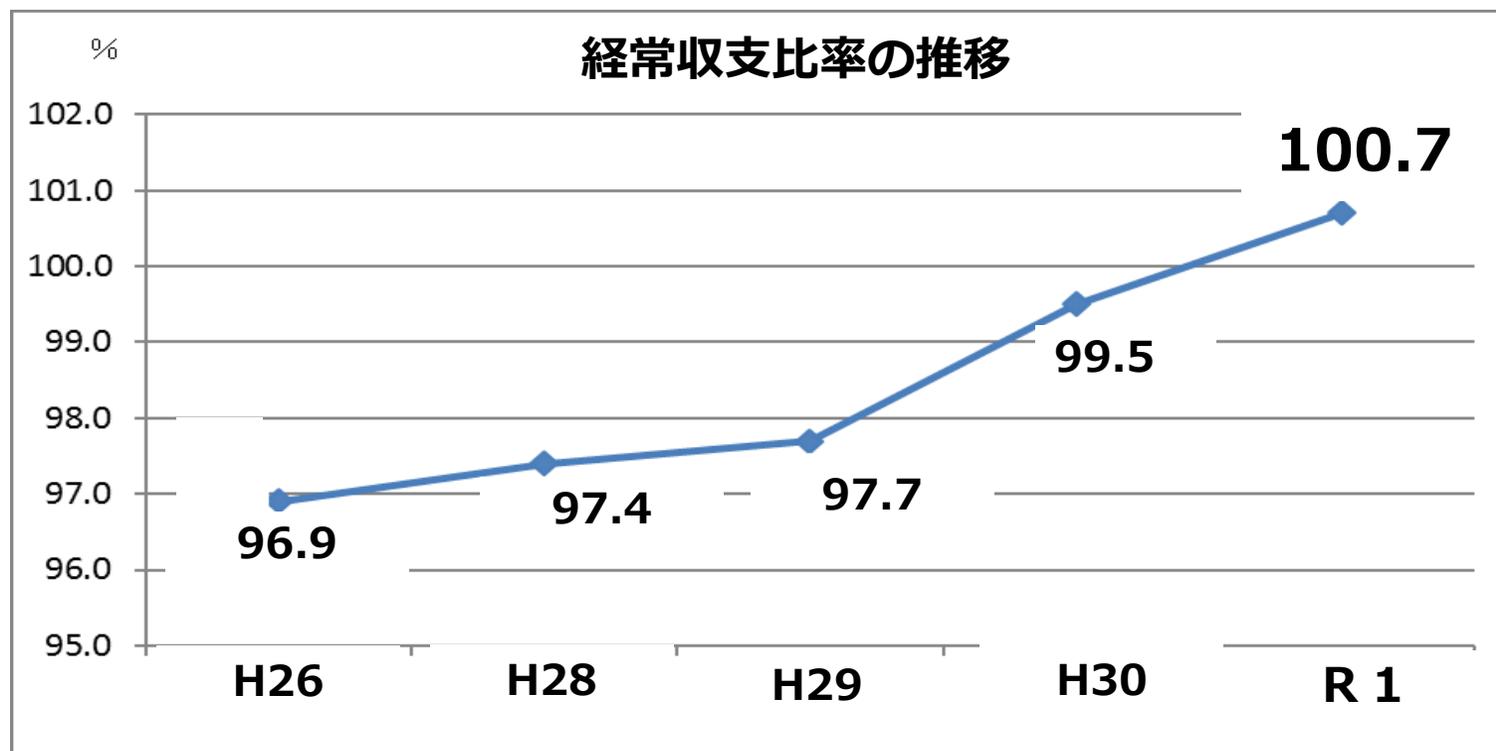
(単位：億円)

年度	歳入総額	歳出総額	差引	実質収支	単年度 収 支
R1	4,208.5	4,181.7	26.7	13.3	▲0.3
H30	4,052.7	4,017.5	35.2	13.6	▲9.1

- ・ 実質収支は**13.3億円**と、40年連続の黒字
- ・ 今年度と昨年度の実質収支の差である**単年度収支はマイナス0.3億円**

③ 令和元年度決算に関する 議会での議論

● 経常収支比率



・ さらに市債残高の増加などにより、財政状況は厳しいものに

③ 令和元年度決算に関する 議会での議論

新型コロナウイルス感染症拡大防止と
社会経済活動の両立を図るとともに、
各事業の本来の目的に照らして、
その必要性や手法を根本から見直し、
限りある財源を有効に活用することによって、
持続可能な財政運営の構築を進める。

市長の発言



③ 令和元年度決算に関する 議会での議論

議員からの意見



財政の硬直化は政策的投資の実現が困難になることから、これまでの財政は健全であるという認識は改める必要がある。

来年度以降予想される収支不足50億円の捻出は予算執行権を持つ市長の政治決断がなければ実現できない。
永藤市長のリーダーシップに期待する。

③ 令和元年度決算に関する 議会での議論

議員からの意見



児童自立支援施設の整備計画の中止も
百舌鳥古墳群ガイダンス施設の建設中止も
市長のトップダウンで決められたもので
民主的議論を否定する姿勢は容認できない。

計画段階から費用対効果を客観的に評価できる
仕組みを構築し、効果的な予算執行が行える
体制の確立を改めて求める。

令和元年度各会計歳入歳出決算を賛成多数で認定

第1部 議会報告

ご清聴ありがとうございました。





第10回堺市議会 議会報告会

令和2年11月22日（日）

第2部 議員との懇談

※名札の裏面をご確認ください

青色ストラップの方（12階へ）



緑色ストラップの方（10階へ）



部屋

テーブル



第10回堺市議会 議会報告会

令和2年11月22日（日）